

議長（門脇 助雄君） 続いて12番、三宅耕三君。

12番（三宅 耕三君） 今定例会に、私は町長をはじめ担当部局に2点、質問をいたします。

今朝、行政報告書の差しかえをお願いするために、カウンターの前をずっと総務課まで歩いてまいりました。その時にこちらからあいさつを申し上げました時に、職員から気持ちよく「おはようございます」という言葉が返ってきました。非常に気持ちのよい、礼儀の行き届いた職員だなと感心をしたわけでありますけども、ただ、その中に1人だけ、全く知らぬ顔をしていた、これは東員町の職員ではない、県からの出向の職員がおりました。たまたま情報を収集するための新聞を読むのが忙しかったのかもしれませんが、もし一住民であれば、感じの悪い職員にしか見えません。

東員町の長い歴史の中で町長は30数年間、町職員として、そして町長として早や6年目を迎えられたわけであります。その中で職員教育、町行政のトップとして、これはあなたにも責任があります。ぜひ改善をしていただきたいと思います。

そんな中で、とかく40有余年も前から佐藤町長がこの庁舎におみえになるわけですから、職員にとって、職員と町長との開きが余りないというのか、緊張感がなくなってきたのではないかなと、そういう気もしないわけでもありません。

そういう中で、町長として、しっかりとリーダーシップをとっていただいて、これまでのような職員の考え方とは、ひと味もふた味も当然違うわけでありますから、この町をどうしていきたいのか、どういう方向に導いていくのかという将来の東員町の展望を皆さんの前に明らかにしていただきたい、そういうふうに思っております。

私もこのまちを、例えば若者を大切にすまちなちとして、もちろん高齢者にも優しい、そして若者にも親切な、そして今の若者たちが都会に出ていっても、決して恥ずかしい思いをしないようにということで、東員町をもっと外に向けてアピールをしてもいいのではないのかなというふうに思います。

とかく職員というと、無難に、間違いのないように、平等にということで、余り大きな改革というのは望めないわけでありましたけども、やはり東員町の若者たちが、名古屋、あるいは東京、大阪という都会に出ていったときに、住所を書いて「いんべぐん」と、いまだにまだ読まれるそうでありますので、できればこの子たちが、「ああ、東員町なら知ってるよ」と言われるぐらい、東員町をもっともっと全国にアピールをしてもいいのではないかなというふうに思います。

幸い、東員町には日本一有名な上げ馬というのがあります。日本一伝統があるお祭りということなんですけども、これをもっとみんな注目して全国に売り出せば、「あの東員町なら知ってるよ」ということで、みんな認めるわけなんです。です

からその辺で、まちおこしに一番大きな役割を果たすのではないかなと思います。

これまでは、そのかわりのある自治会、そして青年団の方々がいろいろとご苦労をなされて、これまで続けてこられました。それでも東員町にある祭りということで私たちもあやかり、そして誇りに思ってきたわけでありますけれども、毎回思うことは、今、外から来る人が非常に多くなってきているこの現実、来てても少しも見られない、どうしていいのかわからないという声もたくさん聞くわけですね。

そのときに、今現在ある棧敷は、これまでのように地元の方にお任せをするとして、今現在、北大社地内にあるゲートボール場が、ほとんどそのときには使われておりません。といいますか、屋根が錆びた状態で、できればその部分を有効活用して、外から来る人に対して、もう少し優しく、そしてまた地元の方でも見られない人があるとすれば、それを有効活用すれば、もっと大社祭が盛り上がるのではないかなというふうに思うわけであります。

そこで、大社祭自体は神事ということでありますので、町行政が直接手を出すということはなかなか難しいと思います。それでも、やぶさめ保存会、あるいはいろいろなところで違う形で助成をして、その祭りを盛り上げるという方法もあるわけですね。

そこでいろいろ考えたときに、大社祭自体は年に1回しか使わないとしても、そのほかは自治会の方が、それぞれ有効活用をしていただければいいと思うんですね。例えば防災倉庫であるとか、ゲートボールのご老人の休憩場所であるとか、いろいろと活動をするということはたくさんあると思います。聞くところによりますと、ひょっとしたら県の一般コミュニティ助成事業というのがあるということで、平たく言えば宝くじのことなんでしょうけど、それが活用できるということを聞いておりますので、ぜひそれが地元に向けて、また東員町のために有効活用できるように、よろしく願いを申し上げたいと思います。

そして観光事業の発展ということで通告もしているわけですが、この9月定例会の補正に歩道の補正予算が上がってまいりました。これは地元の方には「タケル歩道」ということで看板が上がっているところだと思います。長宮駅でしたかね、駅の看板も上がっておって、ここに駅ができるのかなというふうに言われる方もおみえになりました。

これが今回9月定例会で初めて私たち知らされたわけですが、もしこれがもっと早くからわかっているものであれば、もっと早く教えていただければ、楽しみにもしたろうし、もっとほかにも、もう少したったら歩道ができるよ、というようなことで宣伝もできたんですね。ですから観光というのは、ひそかに進める

のではなくて、夢と希望を持って、取り組む人たちにとっても、もっともっとアピールしてもいいのではないかなと思いますけども、町長のご所見をお伺いいたします。

中部公園の有効活用につきましても、当初、建設当時は反対もたくさんありましたけども、今、ご承知のように、毎日のように園児や児童が、ときにはバスで遠足にも歩いてきたりとかいうことで、たくさん子どもたちが訪れております。本当に計画をしたときには想像もつかなかったような事態が起きているわけですけども、訪れる人は町内の人も確かにたくさんおみえになりますけども、それ以上に町外から訪れる方が本当にたくさんおみえになるということで、東員町がそれだけ人気があるということで、うれしい限りではありますが、もっともっと町内の方にも利用をしていただきたい。

そういうことでバーベキュー施設もつくっていただきました。そして、バーベキュー施設を使うのにも、今は延べ2,652名でしたか、こういう人数の方が利用されている。その中で、半分以上は町外の方であるということも聞いているわけですけども、できるだけ東員町外から来ていただくということも、うれしいのはありますけども、やはり東員町の人たちがもっと利用しやすいような、そういう方法もぜひ考えていただきたい。

そして、パークゴルフも盛んに行われているわけでありまして、駐車場が非常に狭いということがささやかれている中で、今、46台計画をしているということも聞いております。そういうたくさん利用がある中で、やはり管理棟がパークゴルフのところから非常に離れたところにある。これが不便ということで、同僚議員からも何度か質問もありましたが、なかなかこれは管理棟ですから、ほかの目的には使用できませんという返事を再三にわたってもらっております。これがパークゴルフの受け付けからすると、一番遠いところにあるんですね。そして総合グラウンドでいろんなイベントがあるときでも、パンやサンドイッチや、そういうものを一切買うこともできない、近くにも何も無いということで、売店にも利用したらどうかという提案もしたときに、やはりここは管理棟ですからという、冷たいといえますか、ほかのことを考えることができない。まだ国への返済が残っている中で、もし査察でもあれば大変なことになるというようなことを言われたんですね。

以前、バーベキューをつくる時でもそうでした。ここは都市公園だから火を使うことはできませんということだったのですが、東員町のふれあいフェスティバルで、焼きそばとか、いろんなことで火を使う機会がありました。とうとう火を使ってしまっただけの事実ができたなら、バーベキューもつくりましょうということになったようでもありますけども、やはり考え方が非常にしゃくし定規なんですね。町長、そういうことじゃなくて、やってあかんものなら仕方ないじゃないかというような考え

方にちょっと変えてもらって、もう少し住民の方に目を向けて、耳を向けて聞いていただければと思います。

聞くところによりますと、何か管理棟の中のシルバー人材センターの職員の方が、ひきだしの中に自分の車のキーを入れていたら、私物を入れてはいかんということで職員から指摘をされた。そしてパークゴルフの大会があるから、ちょっと貼り紙を貼らせてくださいといったら、これは土木課の許可が要るとかいて、受け答えが土木課様々で、職員って偉いんだなという声をよく聞きましたけども。確かにそうであるならば、どこまではどうだという範囲を決めていただいて、ある程度の権限は現場の人に任せていただければなというふうに思いますけども、ご所見を伺いたいと思います。

健全な行財政運営ということで、今、行政改革、財政改革が行われようとして、この9月にも料金改定のための条例改正の提案がなされております。

これから今、足腰の強いうちにと、これは非常によくわかります。よくわかるだけに、住民の方にもわかりやすいような、例えば東員町では、こういうふうに財政を運営してます、要は家庭で言う家計簿のようなものを住民の方にお示しできないかな。例えば「広報とういん」にも載るんですけども、非常に細かくて、行政用語があったりしてわかりにくい。例えば収入が幾らあって、幾ら何に使った、そしてこれだけ辛抱したらこれだけ浮いた。例えば議会の方で言いますと、昨年と今年では1,000万円、議会は議会費を削って改革をしまいいりました。ですから議会費1,000万円を削除しましたというのを、私たちはわかりやすく提案しましたね。議員定数も削減し、政務調査費も削ったということなんですけども、非常にわかりやすい。

そういうわかりやすい、何か改革の家計簿を住民の方にお示しをいただければ、もっと理解が得られやすいのではないかなと。例えば動物を焼くのに、今、5,000円です。人体だと、ただでなければいけないとか、そういう議論もあるようなんですけども、私は決してそういうふうには思っておりません。その説明だけきちんとすれば。説明責任がきちんとされてないと思います。ですから住民は理解をしてない。そういうことにもなりますので、わかりやすい、そういった説明をぜひお願いをしたいと思います。これは町長のご所見をお伺いいたします。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） 三宅議員の、町の将来展望についてのお尋ねにお答えさせていただきます。

自分たちが住む「まち」をよりよいものにしたいという思いは、皆さんだれもがお持ちのことと思います。

まず、まちづくりやまちおこしに取り組む姿勢は、住民の皆さんが中心になり、その町の特性を生かした取り組みをすることが必要であると言われております。

実際、全国には、積極的な取り組みを行い、魅力あるまちづくりを行っている事例がたくさんありますが、それらに共通しているのは地域特性の奇抜さ、目新しさではございません。どこのまちにでもある特性を掘り下げ、付加価値をつけることで、まちづくりに結びつけられております。

住民の皆さんや企業などと協力して構想をまとめ、取り組む必要がございます。また、そのアイデアを効果的に実現する方法について、情報を収集し、企画するために専門家の力をかりることが必要な場合もございます。

私といたしましても「安心・安全」、「教育振興」、「信頼」、「元気」のキーワードをもとに、まちづくりのための施策を展開しており、また住民の皆さんとの懇談会を通じて、ご意見・ご提案をお聞きする中で、まちおこしや活性化に展開できるものが生まれればと思っているところでございます。

まちづくりやまちおこし活動で何よりも大切なのは、意識改革、競争意識、住民参加の実践であり、特に住民の皆さん一人一人が、まちづくりやまちおこしに参加できる機会を設け、なお一層取り組んでまいりたいと思います。

2点目の観光事業への取り組みにつきましては、町の活性化を図り、町を広くPRするための方策として、観光資源の整備は、大変有意義であるものと認識をいたしております。

その中でも大社祭につきましては、町内の最も大きな祭りであると同時に一番の観光資源であることから、今後も引き続き、観光協会、地元自治会とも連携をとり、可能な限り支援をしてまいりたいと考えております。しかしながら、大社祭は神事もさることながら、地域の伝統行事であることから、行政が直接機軸等を設置したりすることは、なかなか難しいと考えるところでございますが、自治会等が宝くじの助成事業などを活用することは可能であります。そのような計画がありましたら十分協議をさせていただき、側面的な支援はさせていただきたいと思っております。

次に、中部公園管理棟の活用につきましては、公園内にバーベキューコーナーの設置やパークゴルフ場の公認の認定を取得するとともに、観光協会によりポニー広場や売店を設置いただき、多くの皆様に楽しくご利用をいただいております。

また、今議会で歩道の補正を提案させていただいております。これは、歴史上でヤマトタケルがそこを通ったという伝説がございます。その部分を歩道として整備をしていこうという、地域の皆さんの提案がございまして、これから5年間かけて整備をしていって、後世に残していきたいというようなことで提案をさせていただいております。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

また、町民協働活動委員会の皆さんによりまして、中部公園には今度、アジサイを植樹していただいております。そんなことで、これからも中部公園のよりよい公園づくりに努めてまいりたいと思います。

そのような中で、管理棟の活用につきましても、利用者の皆様のご意見等もこれからは聴かせていただきまして十分検討してまいりたいと考えております。

次に3点目の、健全な財政運営についてお答えをさせていただきます。

本町における行財政運営の改善や合理化につきましては、これまで定員管理をはじめ、行財政の見直しを進めてきたところでございます。とりわけ我が国の財政が危機的な状況にある中で、国は三位一体の改革によりまして、結果的に国から地方への配分を抑制してきました。

そのような状況の中、東員町が今後も行政サービスの質を維持し、持続的に発展していくためには、みずから行政コストを削減して、財源の効率的、効果的な運用を図ることが求められております。

その一方で、サブプライムを震源とする世界経済の減速は、今後さらに社会構造の変化を生じさせ、同時に住民と行政の関係にも大きな変化をもたらすことが予想をされます。このような動きに的確に対応し、持続的な発展を遂げる東員町を築いていくためには、行財政改革を不断に推し進めまして、効率的な行政運営の仕組みと財政基盤の強化された、まちづくりを進めていくことが大きな課題となっております。

そのような状況の中、「町長と語る会」を実施させていただき、町の財政状況と今後の予測についてご説明申し上げ、ご理解を求めました。行財政改革の必要性和地域における防火施設の管理、地域による防犯施設の管理、笹尾・城山地域の緑地

管理、身近な使用料の見直し等々について、ご説明させていただいたところがございます。行財政改革について、かなりご理解賜ったものと確信をいたしたところでございますが、議員の提案された、町の家計簿的なものにつきましても前向きに検討させていただきましますので、よろしくお願いを申し上げます。

以上です。

議長（門脇 助雄君） 三宅耕三君。

12番（三宅 耕三君） ご答弁ありがとうございました。

中部公園の中にあるパークゴルフ場が、今現在、一人500円ということで行われております。一方、バーベキューは、町内であろうと町外であろうと全く無料で提供されております。

そんな中でパークゴルフの方もかなり人口がふえてきたということで、駐車場が不足しているということは、さっきも申し上げました。その中で、無料で行われているバーベキューの人たちには駐車場が確保されているのですね。荷物の積み下ろしもあるということで、非常にパークゴルフをされる方にとっては不公平だという声が出ております。

そんな中で今年9月に補正が出されているわけですが、戸上川の東側、20台ほど駐車場を予定しているということ。戸上川ではなかったですか、丸山橋の東側ですね。これ今、工事をやっているところですね。補正予算に上げておきながら、もう今既に掘削が始まっているということなんですが、おかしくないですか。以前も何かそんなようなことがちょっとあったように記憶しておりますけども、この辺のことを、みんなに誤解のないように、きちんとお答えをいただきたいと思います。

議長（門脇 助雄君） 伊藤清重建設部長。

建設部長（伊藤 清重君） お答えを申し上げます。

今回補正に上げさせていただきましたのは、確かに戸上川の丸山橋の下流でございますけれども、現在行っておりますのは、現の予算の範囲内で行っておる行為でございます。それとは別に、後で説明もさせていただきますけれども、3カ所整備する、これを補正予算で計上させていただきましたので、よろしくお願いをしたいと思います。

議長（門脇 助雄君） 三宅耕三君。

12番（三宅 耕三君） 紛らわしい誤解のないように、お願いをしたいと思います。

それからバーベキュー施設のことを言いましたけども、無料のものを有料にというのは非常に言いにくいのですが、今、何でも「ただ」という時代ではないのですね。町長、嫌われ役になってもいいですから、有料化ということをぜひご検討いただければと思います。

というのは、町内の方が使おうと思ってもほとんど使えないとか、ときには企業が300人とか、多いときになると500人、もちろん東員町外から来て使用をしている。それでもやっぱり無料ということに、何か矛盾を感じたりもするということですので、1人100円とか、あとは考えていただければいいですけども、そういうお考えがないのかどうか、お尋ねしたいと思います。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） お答えをさせていただきます。

バーベキューそのものが後からつくった施設、その時にきちっとしておけばよかったと思うんですけど、無料というのは、私、今までいろいろなことをご提案させていただいておる中でございますので、無料をずっと続けるということは少し矛盾を感じるみたいな感じはするわけですけども、今直ちにということは大変難しいと思いますので、将来的にいろいろ検討をさせていただきたいと思います。

以上でございます。

議長（門脇 助雄君） 三宅耕三君。

12番（三宅 耕三君） ぜひご検討を。

直ちにじゃないというと、本当にいつになるかわからないというのが今までの前例ですね。そういうことのないように、検討は、もうこれが終わってからでもできるわけですから、よろしくお願いをしたいと思います。

それから斎苑の値上げということで、今、条例改正が出されておりますけども、先日、動物をとということで、うちの愛犬が1匹死んで斎苑に連れていったときに、東員町の場合は5,000円です。桑名市はちなみに500円です。もちろん住民はですよ。そこで桑名市の場合は非常に親切で、気がすむまでお別れをしてくださいということだそうです。ところが東員町の場合、目をはらして、つらい別れを惜しみながら連れていっても、台車に乗せて、はい、ご苦労さん。余りにも味気ない対応に驚きました。余りにもひどいものだから、「おい、何とかもう少しならないのか」と言うと、「いや、別れの人もいろいろですから、うちで済ませてきたとか、いろいろ言われますので」というようなことも言われたわけですけども、どうしてもやっぱり納得できないわけですね。

そこで役場の方と連絡をとりながらおったところが、中から怖い人相の人が出てきてすごくにらまれまして、ああ、これでみんな退散するのかなと思いましたけども。

動物の方は据え置きとって、また人体の方は有料化にということで、今、申し出ているわけですけども、有料化がいいとか悪いとかの前に、もう少し対応を、東員町が委託している業者なわけですから、本当に自分たちがみずから行っているのと同じように対応してもらいたい。その後どうなりましたか、部長。



議長（門脇 助雄君） 松下忠生活福祉部長。

生活福祉部長（松下 忠君） 斎苑の件について、ご答弁を申し上げます。

行政改革をやる中で、これから負担を求めていく。それがあからということになしに、それがあからなしにかかわらず、やはり住民サービスの一環として、町民の皆様に対する対応につきましては、行政として、委託であろうと直営であろうと、これはやはり十分気をつけなければならない、住民にサービスをきちっとお返しをしていかなきゃならないということは十分わかっております。

先日の件につきましては、私ども委託業者に対しまして、こうこうこういうふうにしなさいというふうな形で指導をしております。

それから動物のお別れなんですけれども、ワゴン車に乗せて、入る左側に通路がございます。その通路に花を手向けていただくなり、線香を立てていただくりする場所は用意してございます。そこまで誘導しなかった対応については深くおわびをしたいと思います。

今後こんなことのないように、十分私ども指導していきますし、私ども自身もそれに深くかかわっていきたいというふうに考えておりますので、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 三宅耕三君。

12番(三宅 耕三君) 東員町は株式会社の製造会社ではありませんので、そういった対応が、住民にとっていかに大切かということをおわかりいただければと思います。

次に、この真夏、大変暑い中、小学校6カ所で「町長と語る会」が行われました。この時に、私は1カ所しか出ることができなかつたわけですけども、それぞれいろいろな意見が出されたと思います。

安心・安全と言われる東員町長、あなたが言う行政改革と安心・安全の部分とは違うのではないかとか、あなたは一体どういう方向に向かっているのか、グランドデザインを示しなさいとか、いろいろ出されたと思います。そのほか、今も出たように、それぞれの担当部課にわたって、いろいろな質問やら要望が出たと思います。まずその時の小学校6カ所で行われた「町長と語る会」その総括をぜひ町長に、そして副町長以下担当部長には、それぞれ所管する部分についての対応策をお尋ねしたいと思います。

よろしく申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。  
町長（佐藤 均君） 三宅議員の、町長と語る会についてのご質問にお答えをいたします。

町民の方の声を直接お聴きし、ご意見やご要望を町政に反映させる目的で、平成17年度と平成18年度は各自治会ごとに、そして今年度は各校区ごとに、7月6日、13日、8月3日の3日間で町政懇談会を開催させていただきました。

今回も町民の皆さんから直接ご意見をいただくことと、現在取り組みさせていただいております行財政改革の必要性と、住民の皆さんにご理解をいただかなければならない、施設の使用料や斎苑使用料の有料化などにつきまして、ご説明をさせていただきました。

開催時期が大変暑い時期となり、ご参加いただいた方には、暑い思いをさせ、ご迷惑をおかけいたしました。6校区で合計250名近い方々にご参加をいただきました。

自治会ごとに開催の時は、幹部職員が交代で参加させていただいたところですが、今回は、すべての校区に幹部職員が参加をさせていただくことができました。

いただいたご要望やご意見につきましては、早急に対処できる事項につきましては、今議会の補正予算にも盛り込ませていただいております。また検討事項につきましては、十分に検討し、必要な事業などは新年度以降の対応をと考えております。

ご意見をいただいた中で、行財政改革に関しまして、「改革すべきところは、改革をし、必要な事業は実施をしてほしい」というお話がございました。まさに私の考えと一致するところであり、町民の皆さんにも必ずご理解をいただけるものと感じております。

今後も行財政改革に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくご理解のほどお願いを申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 安藤修平副町長。  
副町長（安藤 修平君） 「町長と語る会」につきまして、私の方からはトータル的にまとめた、という形にとっただけかどうかは別としまして、報告をさせていただきます。

今回も町民の皆さんのご意見やご要望を反映させるために開催をさせていただきました。その中で数々のご意見をいただいております。

その内容につきまして、整理をいたしましたところ、大きく54件の事項に分類をすることができ、そのうち道路に関する事項が10件と、全体の18.5%を占めております。次に施設利用、社会教育に関する事項が5件ずつ、そして行財政改革に関する事項が4件といった状況でございました。

道路関係では、学童の通学路に関する歩道や歩道橋の設置、信号機・規制看板の設置などの内容のご意見・ご要望が主なものでございます。どうしても開発に伴う地域に、信号機・規制看板というようなご意見をいただいております。

次に社会教育に関しましては、自治会対抗行事に関しまして、自治会役員の方から選手集めが大変でご苦労をいただいていることや、体育施設の利用率改定に対しまして、子どもや高齢者の皆さんの使用について、ぜひ減免ということを考えてほしいというようなご要望もいただいております。

また施設利用につきましては、旧第一・第二保育園の空き施設や笹尾交番、これらの利用についてのご質問や要望をいただきました。

行財政改革につきましては、積極的にやるところはやってほしいというご意見や、町民本位の改革を望むなどのご要望をいただいております。

そのほか環境に関しまして、笹尾地区内道路沿道の垣根剪定の啓発の要望、これらや不法投棄自動車に対する対応の要望、公共交通につきましては、コミュニティバスのルートに関するご意見や、高齢者対策では、敬老会のあり方や後期高齢者医療制度について、防災につきましては、防災訓練の内容検討と自主防災組織との連携に関してご意見をいただいております。

ご参加いただきました皆さんにおかれましては、大変お忙しい中、懇談会にご出席をいただき、まちづくりに関して貴重なご意見をいただきました。

現在、ご意見・ご要望をいただきました事項を、各担当におきまして十分検討し、早期に対応すべき事項につきましては可能な限り早く、また、皆さんにご協力をいただかなければならない分もございますので、こういうことに関しましてはご理解をいただきながら、さらにしっかりとした行財政基盤の自治体・東員町となるべく進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力いただきますようによろしくお願いを申し上げます。

議長（門脇 助雄君）

石垣征生教育長。

教育長（石垣 征生君）

三宅議員の「町長と語る会」の具体的な内容につ

いて申し上げます。

先ほど、語る会で出されました事柄につきましては、副町長の方からご答弁があったようでございます。

私ども教育委員会といたしましては、かかわる事項につきまして、すぐに対応できるものについてはすぐに対応しておりますし、調査等の必要なものについては、現在調査中でございますので、それを待って、その結果を参考にしながら、関係者と協議を進めていきたい、こんなふうに思っておりますし、また、予算を伴うものにつきましては新年度予算の中で考えてまいりたいと、こんなふうに思っております。

いずれにいたしましても、できることから早急に対応してまいりたいと、こんなふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議長（門脇 助雄君） 三宅耕三君。

12番（三宅 耕三君） ほかの担当部長は、副町長の方から答えていただきましたので、もう結構です。

1点だけ、町長、総務部長、どちらかお答えいただきたいのですが、町長と語る会の際に町長が言われた、2011年からの地デジ放送について、ラッキータウンテレビの方に、3年間は無料で見られるように申し入れてあると。そうしないと、あちらこちらからアンテナがいっぱい立つよというようなことを言っていると町長が言われました。このことが非常に気になるんですけども。

ということは、3年後にはみんなラッキータウンに必ず契約するから、ただにしろみたいな、そういうことかなとも受け取れるような発言でしたけども。基本的にはどこに頼むか、またはアンテナを上げるかというのは自由なわけですね。

ただ、今現在、桑名市が1,000円で契約をしているということでもありますけど、既に住民の中には、申し込もうとしたら、これとこれを合わせないとダメだとか、住民にとって非常に不利な条件を出されているということを聞いておりますので、そこのところ、住民側に立って、これから2011年からの地デジ放送が、要はプラムチャンネルが廃止をされるわけですので、そちらの方に委託をしたときに、行政情報を見る方と、またそうじゃない方と、余りにも開きがあったら無意味になってしまうということも考えながら、いったん白紙、そういうのもいいのではないかと。そして、ラッキータウンというのは、今現在でも非常にサービスが悪かったり、効率が悪かったりということで、聞く限りにおいては問題も多いようです。ですから望んでいるのは四日市、員弁、桑名の大半がやっているような、要はCTYが共有できたら、行政情報も大きくエリアが広がるのではないかなというふうに思うわけでもありますので、その辺の見解をお聞かせいただきたいと思っております。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） お答えをさせていただきます。

2011年7月ですか、アナログからデジタルへ変わります。それまでの間は、普通であればアナログでいいわけなんですけど、現実にはデジタルもテレビをかえてアンテナを立てれば受信ができる。東員町全体、100パーセントというところまでではないかもわかりませんが、大半のところは現在見られる状況でございます。

私どもとして、2011年の地デジに変わる時点で、本来は有線テレビ会社へいくか、アンテナで受信をするか、2通りの方法に分かれていくと思いますけど、分かれていった場合に、東員町として行政の情報というんですか、いろいろ町民の皆さんに対するお知らせ等が、また昔へ戻る、アンテナで立てられた方に対して情報が伝わらないという危機感から、できたら今までどおり100パーセントの情報、無料でやってきたわけなんですけど、そんな形でいけたら、昔に戻らずに、情報がきちっとできるという思いから、できたら今までどおりみたいな形で、デジタルで100パーセントというのがベターということで、3年間無料にしると、そして町民の皆さんに、そのまま有料になってもすんなり入っていける、そんな状況をつくりたい。そうしないと、またペーパーでお知らせをするとか、いろいろなことが発生をしてくるというところで、ラッキータウンの方へ交渉をさせてもらいました。

ただ、先ほど三宅議員が言われたように、ラッキータウンでなくても、というようなこともございますけど、それは今まで過去にCTY、四日市ケーブルの方にも、その他のところにも、いろいろ話はさせていただいておるんですけど、今の状態のままいった場合には、東員町に進出というんですか、そんなことはできないというような情報もいただいておりますので、それは無理やと。合併とか、そういうことをすれば、それは可能かわかりませんが、それもできないという状況の中でございますので、ラッキータウンの方へ厳しい交渉はさせていただいた経緯がございます。

以上でございます。

議長（門脇 助雄君） 三宅耕三君。

12番（三宅 耕三君） 町長と語る会ということで、出向けば何を言われるかわからないというリスクがある中で、継続していただいておりますことについては敬意を表したいと思います。

私たち議会も今年で3年目を迎えますけども、議会と議会の議員と語る会というのを予定しております。今月9月28日の日曜日、午後1時30分から、笹尾コミュニティセンターで、そして午後6時から、文化センターの2階で行います。ぜひ皆さん、お出かけいただきますように、お願いを申し上げまして、質問を終わります。